

関東ラグビーフットボール協会
会長 貴島 健治 様
関西ラグビーフットボール協会
会長 坂田 好弘 様
九州ラグビーフットボール協会
会長 徳田 昇 様

(公財)日本ラグビーフットボール協会
専務理事 矢部 達三



「2014 競技規則」の誤植 訂正について(通知)

拝啓、平素は日本ラグビーの普及発展につきまして多大なるご尽力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、競技規則 2014 年版の日本語訳につきまして、下記の通り誤植がありましたので、ここに訂正して通知いたします。

貴協会におかれましても加盟都道府県協会、および、各チームに周知徹底いただけますようよろしくお願い申し上げます。

敬具

記

IRB 競技規則(Law of the Game) 日本語訳 訂正箇所

(1) P64 第 9 条 9.B.1 (e)

第9条 得点方法



(e) キッカーは、トライが与えられた時点から1分30秒(90秒)以内にキックを行われなければならない。たとえ、ボールが転がり、置き直した場合も同様である。

罰：1分以内にキッカーがキックを行わない場合は、キックを禁止する。

訂正前 ⇒ 罰： 1分以内にキッカーがキックを行い場合は、キックを禁止する。

訂正後 ⇒ 罰： 上記制限時間内にキッカーがキックを行わない場合は、キックを禁止する。

(2) P133 第 19 条 10 (k)

- (k) **ラインアウトにおける** **防御**ラインアウトにおいて飛び上がってボールを獲得したプレーヤーは、着地したとたんにタックルされる場合がある。

ラインアウトにおいて、飛び上がることなくボールを獲得したプレーヤーは、すぐさまタックルされる場合がある。

どちらの場合も、こうした行為は、モールが形成される前でなければならない。
罰：15メートルライン上でペナルティキック

19.11 ボールを投げ入れるプレーヤー

ボールを投げ入れるプレーヤーは、次の4つのいずれかを選択しなくてはならない。

- (a) タッチラインから5メートル以内にとどまる。
- (b) ラインオブタッチの後方10メートルのオフサイドラインの後方に退く。
- (c) ボールが投げられた後、直ちにそのラインアウトに加わる。

133 INTERNATIONAL RUGBY BOARD

訂正前 ⇒ (k) ラインアウトにおける防御

訂正後 ⇒ **(k)** ラインアウトにおける防御：
(ダブルコロンを挿入)

第20条 スクラム



試験実施ルール

- (g) レフリーは「クラウチ」そして「バインド」をコールする。フロントローは腰を落とし十分な姿勢をつくり、プロップは、必ず外側の腕でバインドしなければならない。ルースヘッドプロップは、相手のタイトヘッドプロップに対し、自分の左腕を相手の右腕の内側に入れ、相手のジャージの背中または脇を掴んでバインドしなければならない。タイトヘッドプロップは、右腕を相手のルースヘッドプロップの左上腕の外側にして、相手ルースヘッドプロップとバインドしなければならない。タイトヘッドプロップは、相手のルースヘッドプロップに対し、自分の右腕を相手の左上腕の外側に置き、相手のジャージの背中または脇を右手だけで掴まなければならない。両プロップは、相手の胸、腕、袖、または、襟を掴んではならない。間を置いた後、フロントローの準備ができたら、レフリーは「セット」をコールし、フロントローは組み合っよう。 「セット」のコールは命令ではなく、フロント同士で準備ができたら組み合っよう、という指示である。

罰: フリーキック

罰: フリーキック

訂正点: 「罰フリーキック」という文言が重複しているため、黒字のほうを削除。

以上